

平成 29 年度 議会事務事業評価結果表（平成 28 年度決算分）

委員会名	福祉環境常任委員会	委員長名	吉野 晴雄
事業名	緊急通報システム運営管理事業 緊急通報システム事業に要する一般的経費 緊急通報システム事業特別会計繰出事業		

評価区分	現行どおり
審査の経過	<p>本事業の目的と意義は全ての委員が認めており、「ひとり暮らしの高齢者等の安否確認、緊急時対応や健康相談などにより、高齢者の不安解消、高齢者の見守り体制の強化に大きく寄与している」と高く評価する意見があった。</p> <p>一方、ひとり暮らしの高齢者の増加に伴い、対象者が増加しているにもかかわらず、利用率が低迷している原因として、協力者 3 名の確保や現行の手法に課題があるのではないかといった意見も出され、改善の提案があった。</p> <p>その内容は、「民間委託を含め、新たなシステムの構築を目指すべきである」「市が進めている見守りカメラと組み合わせた新しいシステムを検討してもらいたい」というものであった。</p> <p>評価については、「ゼロベースで新システムの構築を目指すべきであるから廃止とすべきである」「新たに改善を図るための費用が必要であるから拡充すべきである」「改善は必要であるが、平成 32 年 7 月までは機器のリース契約があるため、予算規模は現行どおりとすべきである」と評価区分は分かれたものの、「現行システムを大幅に見直し、高齢者のニーズに合った利便性の高いシステムを構築すべきである」ということは全ての委員に共通した認識であった。</p> <p>委員会は、審査の結果、賛成多数で「現行どおり」の評価と決定した。</p>